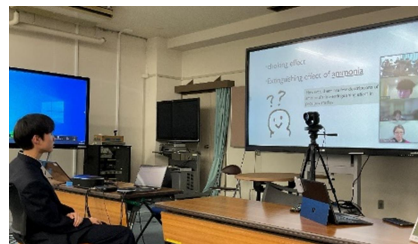


<p>学校名</p>	<p>広島国泰寺高等学校</p>
<p>所在地</p>	<p>中区国泰寺町一丁目2-49</p>
<p>HP</p>	<p>http://www.kokutaiji-h.hiroshima-c.ed.jp/</p>
<p>令和5年度 交流内容</p>	<p>【姉妹校とのオンライン交流】</p> <p>1. ハワイ州モアナルアハイスクールとの交流</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で引き続きハワイ修学旅行が中止となり、モアナルアハイスクールへの訪問は叶わなかった。令和4年度に続き令和5年度も12月2日(土)にオンライン交流会を開催した。本校からは第1・2学年の希望生徒14名、モアナルアハイスクールからは日本クラブの生徒15名が参加し、約1時間のオンライン交流会を開催した。最初に、英語と日本語を使って、お互いの学校紹介やクイズをした後、3つのグループに分かれて、共有したいことを自己紹介で発表し質問をし合っ て交流を深めた。生徒たちは書道の実演をしたり、お互いの学校や食べ物やプライベートの話をパワーポイントや写真を使ったりしてリモートでも伝わるように様々な工夫をこらしていた。モアナルア高校の生徒たちが一生懸命日本語を使ってコミュニケーションを取ろうとしている姿を見て、英語学習を頑張っている本校生徒も刺激を受けたようである。もっと英語でやり取りができるようにと次へのチャレンジに気持ちを新たにした。</p>  <p>2. B C A校との研究交流 <1回目></p> <p>12月13日(水)にZoom Meetingで研究交流を実施した。過去4年間、新型コロナウイルス感染拡大のためオンラインでの研究交流を行ってきた。いよいよ3月23日~28日に本校生徒6名がB C A校を訪問し、授業参加や研究交流を行うことになり、訪問に先立ち、お互いの研究について共有するオンラインミーティングを開いた。今回はB C A校の生徒が研究についてプレゼンをし、コメントを述べたり質問をしたりした。インフルエンザや学級閉鎖等で学校を休んでいた生徒も自宅からzoomで参加し充実した交流の機会を持つことができた。</p> 

< 2回目 >

1月31日(水)に今年度第2回目の姉妹校BCA校との研究交流をZoomで実施した。今回は、本校の生徒が3本の研究を発表し、BCA校の生徒からの質問に答えた。あっという間の交流時間で、2か月後(3月23日~28日)の対面での再会を祈念して、会を終了した。

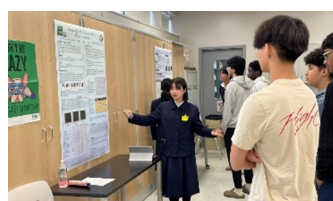
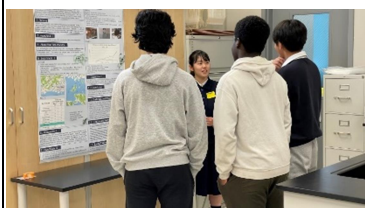


< 3回目 >

3月19日(火)の課題研究成果発表会においてBCA校の生徒の研究動画を第1・2学年全員で視聴し、生徒の意見・感想をまとめた。

【姉妹校訪問】

3月23日(土)~28日(木)の4泊6日で2年生の生徒6名がアメリカ研修に参加し、姉妹校BCA校を訪問した。25日(月)はパートナーの生徒と一緒に授業に参加し、26日(火)はポスターセッションを行い、200名程度のBCA校の生徒が入れ替わり立ち替わりセッションに参加してくれて質疑応答が盛り上がった。今後の研究に向けて多くの気づきと学びがあり、数多くのポスターセッションを英語で行ったことで参加生徒たちの自信となった。



【グローバル平和探究のエリアスタディで広島大学大学院留学生にインタビュー】

12月5日(火)の授業で、生徒それぞれが担当して下さる留学生の出身国について調べ、留学生にそれぞれの国の社会課題についての質問を送り、翌週の12日(火)に、留学生11名(+本校ALT1名)を本校にお招きし、各クラス12班に分かれて、留学生にインタビュー

を行った。簡単な自己紹介から始まり、予め送っていただいた質問を基にプレゼンをしていただいた後、質疑を行った。初対面の外国の方と英語で会話することに最初は緊張していたようだが、徐々に慣れて笑い声が聞こえ



る場面も多くあった。

【広島大学の留学生等との交流会】

2年理数コースの「理数探究」では、物理・化学・生物・地学・数学の5分野に分かれてグループ研究を行っているが、9月15日（金）に、今年度2回目の中間発表会を開催した。今回の発表会では大学講師・留学生や広島県職員の方8名を指導助言者としてお迎えし、これまでの研究成果を英語でまとめたパワーポイントを用い、全て英語でプレ



ゼンテーションを行った。生徒たちはとても緊張して発表に臨んだが、指導助言者の先生方からの優し_く的確な質問やアドバイス、コメントに熱心に耳を傾け、懸命に英語で応答していた。すべての発表を終えた後は、研究に関する内容だけでなく、お互いの文

化や趣味、将来の夢など、幅広い話題で盛り上がり、最後は笑顔で指導助言者の先生方にお礼を述べていた。この経験を通して、研究内容を英語で説明することの難しさと面白さを知り、研究をより深めるためのヒントを得ることができた。また、実践を通して英語による表現力、コミュニケーション能力のスキルアップも図ることができた。



【広島大学の外国人研究者による英語講演（サイエンス・ダイアログ）】

広島大学の外国人研究者に建築構造および材料関連に関して英語で講演していただいた。講師の先生自身の話題や、せん断壁の挙動についての研究内容を詳しくお話しく_ださ_り、講義の途中にひき板（Cross Laminated Timber）の強度を確認するための模擬実験を設けてくださるなど、生徒たちは興味を持って楽しく聴き入った。多くの生徒が積極的に英語で質問を行い、グローバルな視野を広げ、科学研究へのさらなる意欲向上を図ることができた。

<p>今後の 交流予定</p>	<p>令和6年度</p> <p>【姉妹校訪問】</p> <p>モアナルア高校訪問 10月中旬修学旅行中に訪問予定</p> <p>【受入】</p> <p>BCA校との研究交流 1月28日(火)～2月2日(日)で調整中</p> <p>1月31日(金)の課題研究成果発表会に合わせてBCA校生徒6名を受け入れ予定</p> <p>【広島大学の留学生等との交流会】</p> <p>第2学年の学校設定科目「グローバル平和探究」のエリアスタディにおいて留学生にインタビューしたり、第2学年理数コースの理数探究の中間発表会で、英語によるプレゼンテーションを行い、英語で質疑応答をしたり、大学生活や研究内容について質問をするなどの交流会を計画している。</p> <p>【外国人研究者による英語講演(サイエンスダイアログ)】</p> <p>外国人研究者を講師に招き、グローバルな視点の高揚と科学研究へのさらなる意欲向上を図る。</p>
---------------------	---